市政モニター まちづくり提言書作成マニュアル



みとの魅力発信課 市民相談室

目次

I. 序章
【1】はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
Ⅱ. 提言様式の作成
[1] 提言様式について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
Ⅲ. まちづくり提言書の作成
【1】まちづくり提言書について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
Ⅳ. 私たちが理想とするまちの姿についての作成
【1】私たちが理想とするまちの姿について・・・・・・・・・・・・・25 ページ 【2】私たちが理想とするまちの姿の作成について・・・・・・・・・・25 ページ
連絡・問合せ先 〒310-8610 水戸市中央1丁目4番1号 水戸市 市長公室 みとの魅力発信課 市民相談室 (電 話) 029 - 232 - 9109 (FAX) 029 - 232 - 9289 (E-mail)

Ⅰ. 序章

【1】はじめに

提言様式の作成は、公共政策を立案していだだくことと同じになります。慣れていない方はいきなり提言様式を作成されるのは難しいかもしれません。

そのため、提言様式の作成方法に入る前に、予備知識や予行演習を記載します。なお、慣れている方は次の「II. 提言様式の作成」まで読み飛ばしていただいても差し支えありません。

【2】公共政策立案に関するよくある落とし穴について

公共政策の立案やまちづくりという言葉を聞いたとき、多くの方は、「お祭り等のイベント開催」 や、「公共施設等のインフラ整備」等を思い浮かべるのではないでしょうか。

そのため、公共政策を立案しようとすると、ついついイベントやインフラの内容を詳しく考えようとしてしまいます。

一方,物事には「目的」と「手段」があります。この「目的」と「手段」は、はじめに「目的」があり次に「手段」がある、という関係になるため、「手段」を考えた後に「目的」を考えるというのは順序としておかしなものになります。

ここで、この公共政策やまちづくりにおける「目的」と「手段」を考えると、皆様が暮らしたいと思う理想のまちの姿が「目的」にあたり、それを実現するための様々な取組(=イベントやインフラ等)が「手段」にあたります。

従いまして、イベントやインフラ整備の内容を詳しく考えようとすることは、上記で言う「手段」を考えることにあたるため、「目的」が無いままに「手段」を具体化しようとすることになりかねません。

このことから、次のような落とし穴があります。

〇よくある落とし穴①

ついつい公共政策の「手段」に目が行きがちになり、「目的」を見失ってしまう。

上記のように、「手段」に目が行きがちになる結果、「目的」である理想のまちの姿については、 スローガンレベルの抽象的な姿になってしまうことが度々見受けられます。

例えば、「安心安全なまち」、「持続可能なまち」、「子どもに優しいまち」といった具合に、言葉自体は多くの人が賛同できるものであっても、その具体的な中身は聞き手によって千差万別なものとなるまちの姿が挙げられます。

この時,安心安全を目的にしても,人によって治安,防災,食,コミュニティ等々様々な受け取り方ができてしまいます。

これは日常生活で言うと、「体に良くておいしい料理を作る」という目的を定めた場合、その言葉から想定される料理が人によって違っているような状況にあたります。

このことから、次のような落とし穴があります。

Oよくある落とし穴②

「目的」である理想のまちの姿が抽象的となり、他の方との共通認識を得られない。

提言様式並びに本マニュアルは、この2つの落とし穴を避けるように作られています。

【3】予行演習

この予行演習では、提言様式を簡素化したものを記載します。提言様式作成の準備体操にもなりますので、軽い気持ちで取り組んでみてください。

「前提:利益について」

予行演習に必要になる予備知識として、利益についてご説明します。

我々が普段考えている利益や不利益とは、突き詰めるとそれぞれの人の認識や価値観次第であるため、精神的な基準によるものだと考えることができます。

例えば、プレゼントを渡す時、渡す相手によってどのような物をあげるかが変わってくると思います。これは、プレゼントをもらう人によって喜ぶもの(=利益)が変わってくる一例ですが、このように利益とは形のある実物ではなく、その人の認識や価値観の基準によって決まります。

そのため、本マニュアルにおいては、「それぞれの人が持っている精神的な基準に適う状況が利益であり、適わない状況が不利益である」、という前提を置きます。

なお、利益や不利益を得た時の感情を表現すると、うれしい、楽しい、悲しい、等となります。 これをイメージで表すと以下のようになります。

精神的な基準に適う状況 =利益

精神的な基準に適わない状況 =不利益



予行演習の手順は,以下のとおりです。

「手順1:目指す利益の基準を定める」

この手順では、目指す利益の基準を定めます。

予行演習では、移住・定住の促進以外のものでも構いません。

前述のとおり、利益とは精神的な基準によるものであるため、まず始めに何が自分にとっての利益であるかを定める必要があります。

この時、目標がぼやけてしまわないように、ある程度的を絞ることに注意してください。



「手順2」: 利益獲得に必要な条件を分析する」

この手順では、利益を獲得するために必要な条件を分析します。

ここで、条件とは、利益の獲得が決まった時の状況を意味します。そのため、手順1との直接的な因果関係のあるものを記入します。



「手順3:条件を満たす上での支障を分析する」

この手順では、利益を獲得する条件を満たす上での支障を分析します。

これはいわゆる現状分析の項目になりますが、ただ漠然と現状を分析するのではなく、「条件(手順2)を満たす上で解決しなければならない支障(二条件の成就を妨げている現状の問題)は何か?」という視点から現状を分析してください。



「手順4:手順2と3を組み合わせて課題とする」

この手順では、手順2と3を組み合わせて課題とします。

具体的な例は後述しますが、ここでは、手順2の利益獲得の状況と、手順3の現状の支障を組み合わせることがポイントであると理解してください。

例:(手順2を達成する)ため、(手順3の支障を解消)する、など。

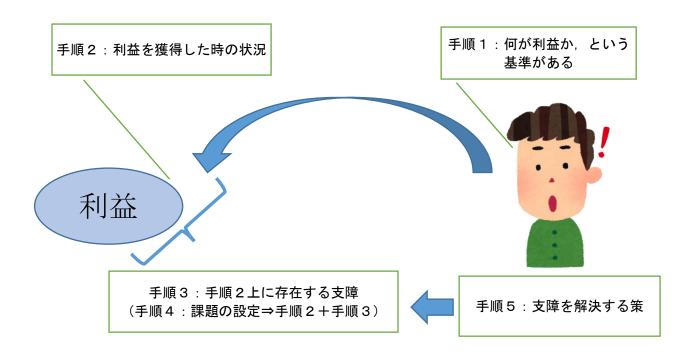


「手順5:課題解決策を立案する」

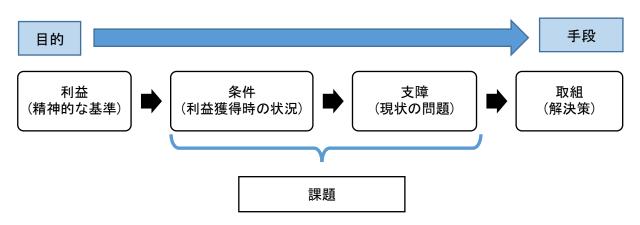
この手順では、先ほど定めた課題を解決する取組(行動)を立案します。

特に、手順3で分析した現状の支障への対策である点を意識してください。

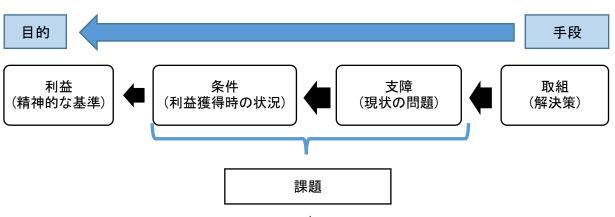
以上の手順をイメージで簡単に表すと以下のようになります。



この手順の順序は以下のようになっていますが、これは目的から手段の順に話を組み立てていることになります。



一方、取組を実施した際に生じる状況の変化の順は以下のようになっています。



このことから,何らかのプランを立案する順序と,取組を実行した際に生じる変化の順序は逆である,という重要な点が読み取れます。

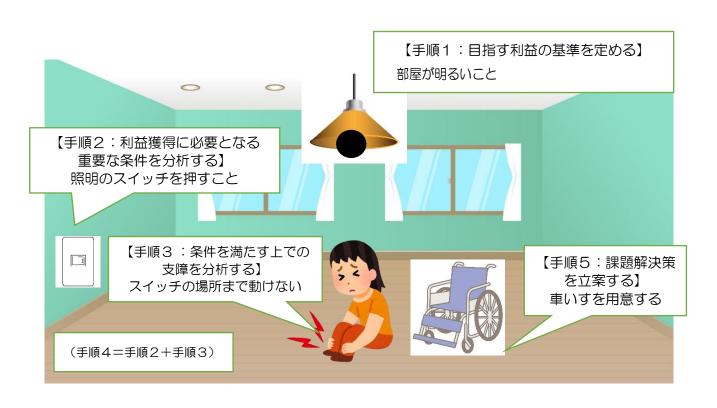
つまり、立案は目的から手段の順に考えますが、状況の変化は手段から目的の順に生じる、ということになります。

ここで、この予行演習のポイントをまとめると、以下のとおりになります。

- 利益とは精神的なものであるため、何が利益かの基準を定義する必要がある。
- 課題とは理想の状況と現実の支障の組み合わせである。
- プラン立案の順序と実際の行動の変化の順序は逆である。

【各手順のイメージ】

「薄暗い部屋の中,足を痛めていて動くことが出来ない」という状況を用いて,各手順をイメージで表すと次のようになります。



手順1	目指す利益の基準を定める	部屋が明るいこと	
手順2	利益獲得に必要となる重要な	照明のスイッチを押すこと	
	条件を分析する		
手順3	条件を満たす上での支障を分	スイッチの場所まで動けない	
	析する		
手順4	手順2と3を組み合わせて課	照明のスイッチを押すため, 動けない状態を	
	題とする	解消する	
手順5	課題解決策を立案する	車いすを用意する	

以下では、日常生活での場面を基に、その他の作成例を記載します。

【作成例1】

手順1	目指す利益の基準を定める	〇〇大学へ進学する	
手順2	利益獲得に必要となる重要な	大学受験で合格点を取ること	
	条件を分析する		
手順3	条件を満たす上での支障を分	数学が苦手である	
	析する		
手順4	手順2と3を組み合わせて課	大学受験で合格点を取るため、数学を克	
	題とする	服する	
手順5	課題解決策を立案する	1日3時間数学の勉強をする	

【作成例2】

手順1	目指す利益の基準を定める	おいしい晩御飯を食べる		
手順2	利益獲得に必要となる重要な	おいしいレストランへ行く		
	条件を分析する			
手順3	条件を満たす上での支障を分	レストランの情報が分からない		
	析する			
手順4	手順2と3を組み合わせて課	おいしいレストランへ行くため,情報不		
	題とする	足を解消する		
手順5	課題解決策を立案する	外食情報サイトでレストランを調べる		

【作成例3】

手順1	目指す利益の基準を定める	仕事でのプレゼンにおいて,自分の主張	
		する内容を適切に伝える	
手順2	利益獲得に必要となる重要な	内容に一貫性のある分かりやすいプレゼ	
	条件を分析する	ンをする	
手順3	条件を満たす上での支障を分	論点がまとまっていない	
	析する		
手順4	手順2と3を組み合わせて課	内容に一貫性のある分かりやすいプレゼ	
	題とする	ンをするため、論点を整理する	
手順5	課題解決策を立案する	プレゼン内容を体系図としてまとめ,話	
		の核心部分を確認する	

Ⅱ. 提言様式の作成

【1】提言様式について

「前提:公益について」

この提言様式の作成に必要になる予備知識として、「公益」について御説明します。

序章では個人の利益を扱いましたが、提言様式では公益を扱います。

個人の利益は一人一人の精神的な基準に適うものを言いますが、公益は人々の合意によって定められる社会的な基準に適うものを言います。例えば、「千波公園は自然が豊かな状況であるべきだ」、と市民の皆様で合意した場合、これが社会的な基準(公益の基準)になります。

そのため、本マニュアルにおいては、「社会的な(皆で決めた)基準に適う状況が公益であり、

適わない状況は公益ではない」, という前提を置きます。

社会的な基準に適う状況 =公益

社会的な基準に適わない状況 =公益ではない



提言書作成のために使用する提言様式は以下のとおりです。

(参考) 提言様式

(参考) 提言様式				
予行演習			項目	内容
との対応				
		ア	テーマに対して,私がつくりたい	
			水戸市(タイトル)	
		1	項目アの内容	・まちの環境について
				・市民の活動について
手順 1	⇒			
				・まちの魅力とテーマとのつながりに
				ついて
		ゥ		
		Ť	りたい水戸市の魅力	
		ェ	項目ウを実現させるために解決・	
 手順			改善すべき課題	
2~4	⇒		(実現に必要な条件や,実現のた	
			めに解決すべきこと)	
		オ	取組	
手順 5	⇒		(項目エを解決・改善する取組)	
			実施主体	水戸市 (行政)
			備考	

【2】提言様式の記入の流れについて(概要)

項目アについて:「テーマに対して、私がつくりたい水戸市」

この項目は、まず、「**皆様にとっての理想の水戸市**」を自由にイメージしていただき、その水戸市 の姿にタイトルを付けていただく項目になります。

例:魅力的な千波公園がある水戸市



・項目イについて:「項目アの内容」

この項目は、項目アでイメージした「**皆様にとっての理想の水戸市**」の姿について、その内容を 記入していただく項目になります。

このことにより、公益の基準が定まります。

例: 私が理想とする水戸市は、市内外から多くの人が集う、自然あふれる(千波)公園がある等



• 項目ウについて:「項目イの中で, 今回の提言でつくりたい水戸市の魅力」

この項目は、項目イで挙げていただいた「**皆様にとっての理想の水戸市**」の姿において、その中でも特につくりたいと考える水戸市の魅力を記入していただく項目になります。

このことにより、実現に向けたプロセスが明確になります。

例:(千波公園で)いつでも楽しく遊べること



項目エについて:「項目ウを実現させるために解決・改善すべき課題」

項目ウで挙げていただいたことが、現在、実現していないということは、実現を妨げている何らかの課題が存在することになります。

そこで、この項目は「項目ウを実現させるために解決・改善すべき課題」を記入していただく項目になります。

例:(干波公園で)豊かな自然に触れられるようにするため、悪質な水辺環境を解消する



項目才について:「取組」

この項目は、項目工に記入した課題を解決・改善する取組を記入していただく項目になります。 取組の実施によって課題が解決された場合、皆様が希望されるまちへ一歩近づくことになります。

例:水質浄化装置を設置する。

【3】提言様式の各項目への記入について

提言様式には、ア〜オの各項目があります。順番に記入してください。

以下、提言様式の各項目の記入内容について御説明いたします。

・項目ア:「テーマに対して、私がつくりたい水戸市」

この項目は、テーマに対して、皆様がどういった水戸市をつくりたいかを自由にイメージし、そのイメージできた水戸市の姿にタイトルを付け、記入する欄になります。

タイトルについては、理想とするまちの姿はどのようなものかを分かりやすくするため、完成形が分かるようにしてください。

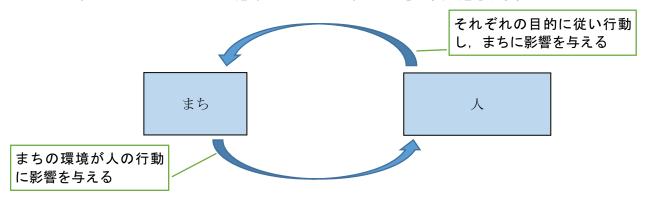
例えば,「千波公園の魅力の向上」という表現を「魅力的な千波公園がある水戸市」とすることで,理想とする姿が伝わりやすくなります。

• 項目イ:「項目アの内容」

この項目は、項目アでイメージした、皆様にとっての理想の水戸市の姿について、その内容を記入する欄になります。

私たちの社会全体は、「人(団体等のグループを含む)」と、人を取り囲む「まち」によって成り立っています。この時、以下の図のように、私たちの行動はまちに影響を与えるとともに、まちの環境は私たちに対して影響を与えるという循環構造になっています。

そのため、このプロセスではこの循環をイメージしながらまちの姿を描きます。



この理想のまちの姿は、事細かに全て記載するとまとめづらくなってしまうため、特定の基準で 記入する必要があります。

具体的には、次の3点を中心に記入していきます。

Oまちの環境について

まちの環境とは、上の図の左側にある「まち」に相当します。都心で暮らす場合と山の中で暮らす場合とでは出来ることが全く異なるように、まちの環境によって私たちが出来ることが変わってきます。

そこで、理想のまちはどういった環境になっているのかを記入します。

なお、ここでは利益のような価値的(精神的)な視点ではなく、実体的な視点から記入します。

●まちの環境の例

自然, 野生動物, 人工物, 歴史, 無形文化財, 制度・慣習 など

〇市民の活動について

市民の活動とは、前のページの図の右側にある「人」に相当します。まちの環境は、私たちの活動から大きく影響を受けています。

そこで、上記のまちの環境に対して、私たちはどのような活動を行っているのかを記入します。 なお、まちの環境と同様に、利益のような価値的(精神的)な視点ではなく、実体的な視点から 記入します。また、市民の活動には団体等のグループの活動も含まれます。

以上で上記の図のまちと人との間の循環のサイクルが完成します。

●市民の活動の例

学習等の知識を深める活動,ボランティア等のそれぞれの価値観や理念に基づく活動,スポーツ 等の身体能力が重要な活動,経済的な活動 など

Oまちの魅力とテーマとのつながりについて

以上に述べた「まちの環境」と「市民の活動」に記入した内容が公益の基準になります。ここでは、この公益の基準が満たされた時、どのような魅力がまちに生じているかを価値的(精神的)な視点から記入します。併せて、この魅力とテーマとの関係も記入します。

●まちの魅力とテーマとのつながりの例

偕楽園・干波公園は,動植物を含めた自然への愛着や郷土愛を育む他,人々に活気をもたらすなど,水戸市を代表するパワースポットとなっています。

ここでは自然,人工物,人々の交流などが高い水準で有機的に連携・統合されているため,美しく楽しいまちの姿が実現しています。

そのため、水戸市民は誰でもこの場所で日々のストレスを解消するとともに、明日へのエネルギーを育むことができています。

移住検討者は、暮らしていて楽しく、魅力のあるまちを選ぶことが想定されます。そのため、水 戸市が独自の地域資源を上手に活用した、楽しく魅力のあるまちであれば、水戸市に人を惹きつ け、人を呼び込めることになると想定されます。

また、水戸市で今後も暮らしていくにあたっては、そのまちに安らげる場所があり、地域への愛着があることが非常に大事になると考えます。

以上により、魅力的な偕楽園や干波公園がある水戸市では、移住・定住が促進されています。

なお、この項目は皆様に考えていただく最上位の目的であるため、基本的にどのような公共政策 (手段)が実施されているかは記入しません。例外として、伝統的な地域行事等、行事自体が目指 すまちの姿(目的)となっているものであれば記入します。また、この項目のイメージを伝えるために、絵や写真等も掲載することも考えられます。

また、項目イを記入することが難しい場合には、箇条書きでも構いません。

・項目ウ:「項目イの中で、今回の提言でつくりたい水戸市の魅力」

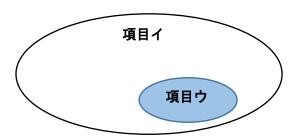
この項目は、項目イで挙げた理想のまちの姿の中に存在する魅力の中から、実現を目指す魅力を 選び、記入する欄になります。

記入にあたっては、この後の展開に繋がりやすくするために、的を絞って記入してください。

記入例

- 地域に学びの拠点があること
- ・自然の景観を楽しめる千波公園
- 子育ての身体的負担が少ないこと

項目イと項目ウの関係のイメージ (項目イの一部が項目ウです。)



・項目工:「項目ウを実現させるために解決・改善すべき課題」

項目ウで挙げたことは,現在は実現していないこととなるため,実現を妨げている何らかの支障 が存在することになります。

そこで、この項目は「これを解決(解消)すれば項目ウが実現すること」を記入する欄になります。

課題設定の目的は、「何を解決すれば狙い(この場合は項目ウ)が実現するのか」を明確にすることにあります。

つまり、設定した課題が解決されても、項目ウが実現されないならば、課題の設定に失敗したこととなってしまいます。

そのため、この課題設定では、次の1~3の手順が必要になります。

○課題作成の手順

課題手順1:「項目ウの実現に必要となる重要な条件」を見つける

課題手順2:「手順1の条件を成就させる上で特に支障になっていること」を見つける

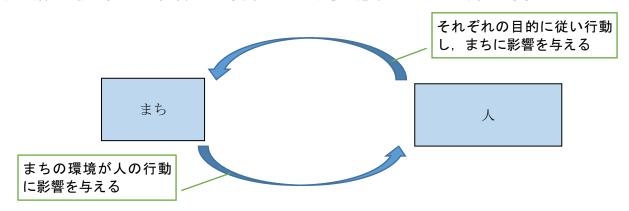
課題手順3:手順1と手順2を組み合わせ、課題を設定する

なお、この課題手順1及び2に記入することは複数考えられる場合がありますが、その場合には その数に応じて複数の課題をつくることになります。

それぞれの手順の詳細は次の通りです。

課題手順1:「項目ウの実現に必要となる重要な条件」について

「項目ウの実現に必要な条件」とは、利益が生じる状況、と言い換えることができます。この課題手順1を設定するには、項目イで使用した人とまちの循環のイメージを用います。



項目イでは、このサイクルとはどういう状況であり、それによってどのような魅力が生じているのかを記入し、項目ウではその中から特定の魅力に的を絞りました。

この課題手順1では、項目ウの実現に必要となる重要な条件を記入します。これは、項目イで描いた世界観(上の図のサイクル)において項目ウの魅力が生じている重要な状況を分析し、記入することになります。分析にあたっては、実現したい魅力は、どういったまちの環境において、どういった人の活動によって生じるのか、ということを意識しながら分析します。

ここでは、課題設定の目的は、「何を解決すれば狙い(項目ウ)が実現するのか」を明確にすることにあることを踏まえ、重要な条件に的を絞って、可能な限りシンプルに表現することが好ましくなります。

例えば、項目ウで「(千波公園で) いつでも楽しく遊べること」を利益とした場合には次のように 考えることができます。

魅力(項目ウ)	条件の候補
(千波公園で) いつで	1. 豊かな自然に触れられること
も楽しく遊べること	2. 遊具が充実していること
	3. (金銭面等の) 負担が低いこと
	4. アクセスしやすいこと
	5. 楽しみ方が分かりやすいこと

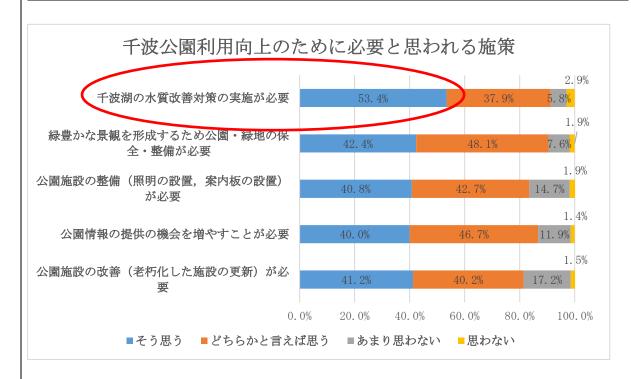
この場合には、上の5つの条件の候補の中から、皆様にとっての**重要な**条件とは何かを検討し、 決定します。

課題手順2:「手順1の条件を成就させる上で特に支障になっていること」について

課題手順2は、手順1の条件を成就させる上で特に支障になっていることについて記入します。 特に支障になっていることを見つけるためには、現状分析を行います。しかし、実際の社会は非常に複雑で様々な要素が存在しているため、漠然と現状を分析してしまうと、そもそも何を分析して何を見つけようとしていたのかも分からなくなってしまうことがあります。そのため、「課題手順1の条件を成就させる上で、特に支障になっていることは何か」、という視点から分析を行ってください。 現状分析をした結果、もしも特に支障になっていることが見当たらなかった場合には、課題手順 1の条件が満たされているため、課題を設定する必要がなくなります。

前述のとおり、設定した課題が解決されても項目ウが実現されないならば、課題の設定に失敗したこととなってしまうため、データ等を活用して現実に即したものにすることが重要になります。

課題手順1	課題手順2	活用するデータ
(千波公園で)豊かな自	水辺環境が悪化していること	・水質検査の結果
然に触れられること	れられること ・ 千波公園の景観に関する	
		のアンケート調査の結果 等



(出典)

水戸市偕楽園公園(千波公園等)整備基本計画

https://www.city.mito.lg.jp/page/4397.html

課題手順3:「課題の設定」について

課題手順3は、課題手順2で挙げた問題について、それへの対策を講じる旨の言葉に変換した上で課題手順1と組み合わせ、課題を設定します。

課題を設定する際には、「〇〇〇(手順1)を達成するため、 $\triangle \triangle \triangle$ (手順2)を解消する」というようにしてください。これは基本構文ですので、適宜文脈上の修正を加えていただいてもかまいません。

このように一文でまとめることによって「何をすればいいのか」を明確にすることができるため、 極力一文になるようにまとめます。

そして、適宜課題に備考を設け、その課題の背景やデータ等を説明してください。

・項目工の作成表(作成例1)

項目ウ		(千波公園で)いつでも楽しく遊べること
「項目ウの実現に必要となる重要な条		豊かな自然に触れられること
課題手順1	件」を見つける	
		水辺環境が悪化していること
	支障になっていること」を見つける	
手順1と手順2を組み合わせ、課題を課題手順3		豊かな自然に触れられるようにするため、
球殴士順う	設定する	悪質な水辺環境を解消する

・項目工の作成表(作成例2)

項目ウ		子育ての負担が少ないこと	
課題手順1	「項目ウの実現に必要となる重要	子どもが利用するサービスへの金銭負担が少	
沐迟于脱!	な条件」を見つける	ないこと	
	「手順1の条件を成就させる上で	子どもの医療費や教育費の負担	
課題手順2	特に支障になっていること」を見つ		
	ける		
	手順1と手順2を組み合わせ、課題	子どもが利用するサービスへの支出が少ない	
課題手順3	を設定する	環境をつくるため、過度な医療費や教育費負担	
		を解消する	

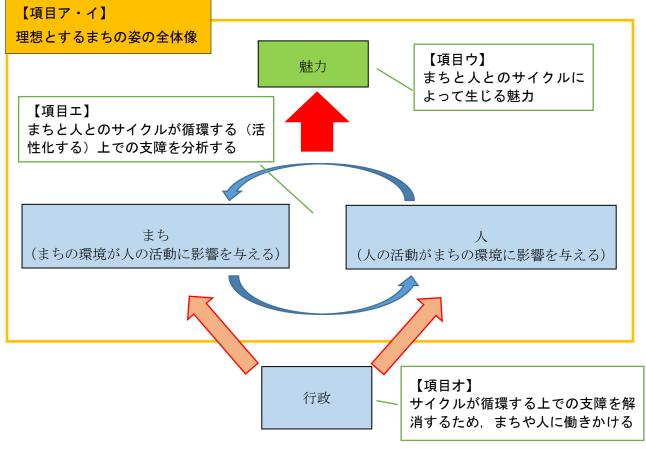
項目才:「取組」

この項目は、項目工で挙げた課題を解決するための取組を記入する欄になります。 記入にあたっては、課題(特に課題手順2)への対応関係を意識しながら記入してください。 なお、これは水戸市政への提言であるため、取組の実施主体については水戸市(行政)とします。 そのため、民間企業等が関係する取組としたい場合には、水戸市が民間企業等とどのような形で関わるべきかについて記入してください。

記入例

項目ウ「項目イの中で, 今回の提言でつくりたい 水戸市の魅力」	項目工「項目ウを実現させるために解決すべき課題」	項目才「取組」
千波公園でいつでも楽し	豊かな自然に触れられるようにするた	・アオコの発生を抑制する
く遊べること	め、悪質な水辺環境を解消する	ジェットストリーマーを設
		置する
ジョギングを楽しめる	安全に走れる環境にするため、ジョギ	〇〇前のジョギングコー
こと	ングコースの凹凸を解消する	スをなだらかにする整備を
		行う
子育ての負担が少ない	子どもが利用するサービスへの支出が	•○○の登録•利用制度にお
こと	少ない環境を達成するため、過度な医	ける,□□を△△に簡素化
	療費や教育費負担を解消する	する

(参考)以上に述べた提言様式の各項目を、図で表すと以下のようになります。



前のページの図のように、行政は最終的にまちや人に働きかけます。そのため、以下のように、まちの環境や市民の活動を構成する要素に働きかけることを念頭に取組(項目オ)を考えることで、より具体化することができます。

○まちの環境を構成する要素

自然,野生動物,人工物,歴史,無形文化財,制度・慣習 など

〇市民の活動を構成する要素

状況判断能力, 各々の価値基準, 身体能力, 経済力 など

備考欄について

この項目は、提言様式作成にあたり、使用した統計的データや参考とした他市事例等を記入してください。



水戸市マスコットキャラクター「みとちゃん」のプロフィール

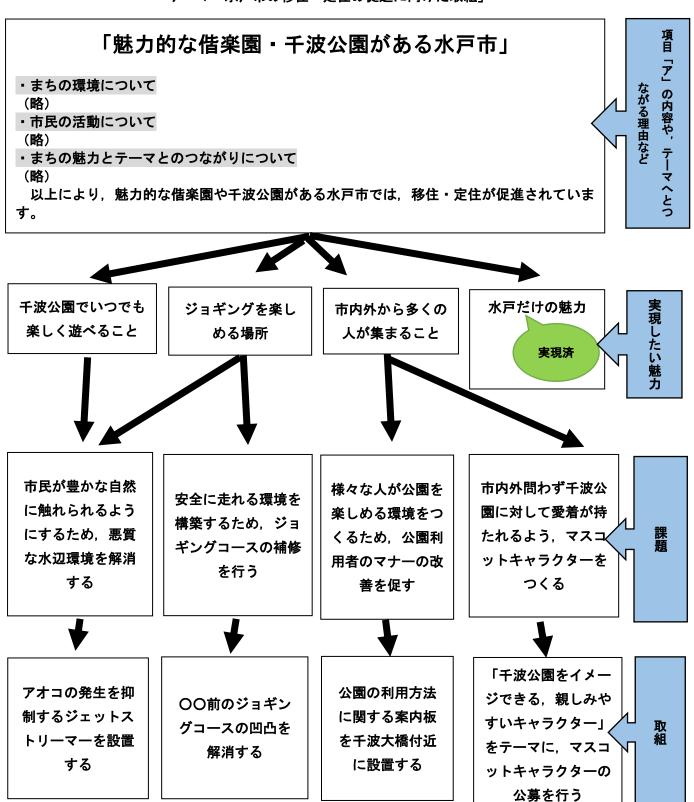
性別	女の子
誕生日	3月10日
性格	好奇心旺盛で色々な場所にお出かけするのと、遊びに来てくれたお友達をおもてなしするのが大好き
好きな	納豆,森のシェーブル館のレアチーズタルト,水戸藩ら一め
食べ物	ん,梅干
好きなこと	偕楽園でのお昼寝、お出かけ(黄門様に憧れていずれは全国 行脚したいと思っている)

【4】提言様式の各項目の関連について

提言様式の項目ウ~オについて、それぞれ複数のことを挙げていただく場合には、階層構造で表すと全体像を分かりやすく整理できます。

前ページまでの内容も踏まえ、「魅力的な干波公園がある水戸市」を題材に提言様式の各項目を 階層構造にして表すと、以下のようになります。

テーマ「水戸市の移住・定住の促進に向けた取組」



	テーマ「水戸市の移住・定住の促進に向けた取組」				
ア	テーマに対して、私がつく	魅力的な偕楽園・千波公園がある水戸市			
	りたい水戸市				
	(タイトル)				
1	項目アの内容	・まちの環境について			
		私にとって理想の偕楽園から千波公園にかけての自然は,梅・			
		桜・綺麗な水面等があり、蛍をはじめとした多様な生態系が構築さ			
		れています。			
		また, 偕楽園では観梅等を, 千波湖ではジョギング等を行うため			
		の周遊コースが整備されています。千波湖の周辺に目を向けると、			
		中心市街地や日本三名園の偕楽園等が有機的に連携しています			
		が、これは江戸時代に千波湖が水戸城の堀としての役割を持って			
		いたことや, 偕楽園の場所を決めた理由等のように, 水戸における			
		重要な拠点となっていた歴史的背景に基づきます。そのため、歴史			
		的背景等の共通のテーマをコンセプトとした歩道が各地で整備さ			
		れている等、エリア全体が一体的な空間となるように街並みが工			
		夫されています。			
		この偕楽園・千波公園では、偕楽園の名の由来に基づき、多くの			
		人が楽しめるように、経済面への配慮やイベントを開催しやすい			
		仕組みづくり等が実施されています。			
		・市民の活動について			
		水戸市民はこの偕楽園や千波公園において, 観梅, ジョギングな			
		どの運動, 一年を通して開催される様々なイベントへの参加, 生態			
		系や良好な景観の保全活動などの多様な活動を行っています。ま			
		た、中心市街地を始めとした近接するエリアへも訪れる等、偕楽			
		園・千波公園を拠点として多くの人の動きが生じています。			
		この偕楽園・千波公園においては、お金を持たない子どもでも飲			
		食、各種イベント、スワンボート等を利用することができていま			
		す。			
		・まちの魅力とテーマとのつながりについて			
		こうした偕楽園・千波公園は、動植物を含めた自然への愛着や郷			
		土愛を育む他, 人々に活気をもたらすなど, 水戸市を代表するパワ			
		ースポットとなっています。			
		ここでは自然、人工物、人々の交流などが高い水準で有機的に連			
		携・統合されているため, 美しく楽しいまちの姿が実現していま ,			
		す。			
		そのため、水戸市民は誰でもこの場所で日々のストレスを解消			
		するとともに、明日へのエネルギーを育むことができています。			

移住検討者は、暮らしていて楽しく、魅力のあるまちを選ぶこと が想定されます。そのため、水戸市が独自の地域資源を上手に活用 した、楽しく魅力のあるまちであれば、水戸市に人を惹きつけ、人 を呼び込めることになると想定されます。 また、水戸市で今後も暮らしていくにあたっては、そのまちに安 らげる場所があり、地域への愛着があることが非常に大事になる と考えます。 以上により、魅力的な偕楽園や千波公園がある水戸市では、移 住・定住が促進されています。 ゥ |項目イの中で,今回の提言 千波公園でいつでも楽しく遊べること でつくりたい水戸市の魅力 エー項目ウを実現させるために 豊かな自然に触れられるようにするため、悪質な水辺環境を解 解決・改善すべき課題(実現 消する。 に必要な条件や, 実現のた めに解決すべきこと) 千波公園利用向上のために必要と思われる施策 2.19% 千波湖の水質改善対策の実施が必要 1.9% 緑豊かな景観を形成するため公園・緑地の保 全・整備が必要 1.9% 公園施設の整備(照明の設置,案内板の設置) 14.7% が必要 公園情報の提供の機会を増やすことが必要 11.9% 1.5% 公園施設の改善(老朽化した施設の更新)が必 17.2% 粟 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0% ■そう思う ■ どちらかと言えば思う ■ あまり思わない ■ 思わない ・アオコ(※1)の発生を抑制するジェットストリーマー(流動促 オ 取組(項目エを解決・改善す 進装置)を設置する。 る取組) ・市民団体のビオトープ(※2)形成活動を支援する。なお、支援 内容は〇〇に注力する。 水戸市 (行政) 実施主体 備考 (出典) 水戸市偕楽園公園 (千波公園等) 整備基本計画 https://www.city.mito.lg.jp/page/4397.html

※1:水の滞留等が原因で水中の植物プランクトンが大量に増殖し、水面が緑色の粉をまいたよう になる現象のこと。

※2:水生植物等が植栽され、野生動植物等が生息できる生物空間のこと。





	テーマ「水戸市の移住・定住の促進に向けた取組」				
ア	テーマに対して、私がつく	安心して子どもを生み、育てられる水戸市			
	りたい水戸市				
	(タイトル)				
1	項目アの内容	・まちの環境について	・まちの環境について		
		私が理想とする水戸市では、子どもが自然に	観しみながら育ち		
		やすいように、公園をはじめとして、適切に自然	が管理された環境		
		があります。			
		また、子育て施設や病院等の医療機関が量・	質共に充実してお		
		り、施設利用にあたっての移動などの負担が少な	さくなっています。		
		このまちでは、子育て支援に関するネットワー	ウが構築され,社		
		会全体で子どもを支える仕組みが出来ています。			
		これらのことから、水戸市では 1.8 以上の合	計特殊出生率(国		
		が掲げる希望出生率※)が実現しています。			
		・市民の活動について			
		このまちの子どもは、公園などで全力で飛んだ	だり走ったりする		
		など、頭から指先までの全身を使った遊びをする	ることができてい		
		ます。			
		このまちの保護者は、たとえ近くに親族のいる	ない共働き世帯で		
		あっても、様々な社会資源(子育て施設や医療機	関,子育て支援制		
		度等)を活用することで、身体面への負担が非常	に少ない子育てを		
		行えています。			
		また、水戸市民は、子どもは将来に向けたまち			
		認識のもと、互いに助け合う精神を持って他者(
		するとともに、保護者は自分の子どもが将来他	者を助けられる人		
		物となれるように公共的精神を教育しています。 			
		++ 0 th + 1 = - 1 0 0 th 1/1/10 0 10 m			
		・まちの魅力とテーマとのつながりについて私が理想とする水戸市は、自然も含めたまちま	今休でス じょ た. 件		
		み育てることができるため、この水戸市で育った。			
		もに豊かでたくましく、公共精神にあふれ他者を			
		ドできる人物へと成長できます。	57(7), A 7 E 7		
		このまちで暮らす保護者は、将来への夢や希望	望を持って子苔で「		
		ができるとともに、子供は安心して伸び伸びと			
		きるため、笑顔にあふれ快適に暮らせるまちとな			
		つながります。	, , , , c i , , , , , , , , , , , , , ,		
		さらに、水戸市は将来に希望が持てるまちだ。	と市外にも広まれ		
		ば、市外から人が集まることにより、移住も促			
		す。			

ゥ	項目イの中で、今回の提言	子育ての負担が少ないこと
	でつくりたい水戸市の魅力	
I	項目ウを実現させるために	身体面で負担の少ない子育て環境を構築するため,各種申請・登
	解決・改善すべき課題 (実現	録時の負担を軽減する。
	に必要な条件や,実現のた	
	めに解決すべきこと)	
オ	取組 (項目エを解決・改善す	○○の登録・利用制度における、□□を△△に簡素化する。
	る取組)	
	実施主体	水戸市(行政)
	備考	

※若い世代における結婚、妊娠・出産、子育ての希望がかなうとした場合に想定される出生率。





わんぱーく・みとの様子

Ⅲ. まちづくり提言書の作成

【1】まちづくり提言書について

まちづくり提言書とは、市政モニターの皆様から提出された、それぞれの提言様式の内容等を一つにまとめたものです。

【2】まちづくり提言書(素案)について

市政モニターの皆様が提出した提言様式の内容等を基に,市民相談室がまちづくり提言書(素案) を作成します。

なお、提言様式の各項目は、まちづくり提言書では、以下のとおり反映されます。

	提言様式の各項目		
ア	テーマに対して,		
	私がつくりたい水戸市		
1	項目アの内容		
ゥ	項目イの中で,今回の提言で		
.,	つくりたい水戸市の魅力		
I	項目ウを実現させるために		
	解決・改善すべき課題		
才	課題解決の取組		

提言書への反映の仕方
まちづくり提言書に反映
(24 ページの吹き出しA)
「私たちが理想とするまちの姿」(※)に反映
(まちづくり提言書とは別冊で作成します。)
まちづくり提言書に反映
(24 ページの吹き出しB)
まちづくり提言書に反映
(24 ページの吹き出しC)
まちづくり提言書に反映
(24 ページの吹き出しD)

※最終的に出来上がるものは、「私たちが理想とするまちの姿などについて」及び、「市政モニターまちづくり提言書」の2冊を予定しています。「私たちが理想とするまちの姿などについて」は提言様式の項目イや備考欄に記入した内容をそのまま記載します。

【3】 小テーマについて

まちづくり提言書については、3つの小テーマを設定します。

皆様が作成された提言様式を、その内容に応じて市民相談室が以下のように分類します。

	小テーマ名(仮称)	該当するもの
ルニーフィ	水戸ならではのまち	水戸市特有の地域資源を活用する、水戸市だけ
小テーマ1		が行えるまちづくり
₩=. 70	豊かさと安らぎのあるまち	特段水戸市特有の地域資源を活用せず、他の市
小テーマ2 		町村でも行えるまちづくり
₩=. 7 2	日本で輝く水戸	水戸市の範囲を越え,他の小テーマには該当し
小テーマ3		づらいまちづくり

【4】まちづくり提言書の作成について

市民相談室が作成するまちづくり提言書(素案)に基づき、市政モニターの皆様とまちづくり提言書を完成させます。

小テーマごとにグループを作りますので、市政モニターの皆様はいずれかの小テーマのグループ に所属し、小テーマごとにまちづくり提言書を作成してください。

各小テーマのグループにおいては、主に以下のものを行います。

主に行うこと

- ・各小テーマの名称の決定 ⇒ 下記①参照
- ・提言書の各項目の修正等 ⇒ 次ページ②参照

①各小テーマの名称の決定

テーマ「水戸市の移住・定住促進のまちづくり」

私たち市政モニターは、テーマである「水戸市の移住・定住促進のまちづくり」について、この 1年間研究してきました。

その結果、水戸市独自の地域資源が最大限活用された「水戸ならではのまち(仮)(小テーマ1)」、 どこのまちでも変わらず大切な「豊かさと安らぎのあるまち(仮)(小テーマ2)」、広域的な視点から水戸市の強みを活用した「日本で輝く水戸(仮)(小テーマ3)」をつくることが水戸市への移住や定住を促進させる指針になると考えました。

以上を踏まえ、次のとおり提言いたします。

〇水戸ならではのまち(仮)(小テーマ1)

[1] [000]

[2] [000]

[3][000]

所属する小テーマの名称を決定します。

それぞれの小テーマのまちの姿に名前を付けてください。

〇豊かさと安らぎのあるまち(仮)(小テーマ2)

[1] [000]

[2] [000]

[3] [000]

〇日本で輝く水戸(仮)(小テーマ3)

[1] [000]

[2] [000]

[3] [000]

【提言1】「〇〇〇〇」

A:提言様式の項目ア

B:提言様式の項目イ

【理想とするまちの姿(要旨)】

- (理想とするまちの姿における、まちの環境に関する要旨)
- (理想とするまちの姿における,市民の活動に関する要旨)
- (理想とするまちの姿における,魅力とテーマとの関係に関する要旨)

C:提言様式の項目ウ

このまちをつくるために、この提言で実現したいことは「~~~~~~」です。その実現に向け、以下のとおり課題及びその解決のための取組を提言します。

【課題】

~~~~~~~

D:提言様式の項目エ

取組1

E:提言様式の項目オ

いただいた提言様式を基に、市民相談室が提言書に転記しますので、御確認の上加除修正をお願いします。



千波湖から見た偕楽園



水戸黄門まつりの様子



古の水戸城址復興記念事業の様子(写真は大手門)



備前堀灯篭流しの様子

# Ⅳ. 「私たちが理想とするまちの姿について」の作成

#### 【1】「私たちが理想とするまちの姿」について

「私たちが理想とするまちの姿について」とは、皆様が提言様式の項目イや備考欄に御記入いた だいたものを、そのまま別冊としてまとめたものです。

この「私たちが理想とするまちの姿について」は、皆様のまちづくりにおける大元のイメージであり、まちづくり提言書へとつながるものです。

#### 【2】「私たちが理想とするまちの姿について」の作成について

「私たちが理想とするまちの姿について」につきましては、皆様から御提出いただいた提言様式 を基に市民相談室がまとめますので、記載された内容に間違いがないか等を御確認ください。



水戸市の中心市街地の様子



保和苑のあじさい